

写真フレームと防災グッズが合体

防犯・防災に関する製品やサービスを展開し、最新の情報を提供する同展。特に防災に絞って傾向を探ってみた。

(株)カスナネット（京都市）が今春開発したのは、写真フレームと防災グッズを合体させてセットにした「チェレーム」。思い出の写真は安心感や希望を取り戻し、再び立ち上がる心の支えを与えてく



△防災グッズをセットした写真フレーム「チェレーム」（カスナネット）



△長期保存用口腔ケア WET 綿棒。災害時に水なしで口腔ケアが行える（小津産業）



△割れたガラスや瓦礫の上も歩ける防災安全ルームシューズ（左）と、危険物から足を守る快適歩行インソール（ドリーム）



△フードロス削減を目指す循環備蓄食品「ハートフード」（ロート製薬）

れるとの考えから、写真フレームと防災グッズの収納を一体化させた。フレーム内には、マルチポンチヨ、凝固剤、簡易和式トイレ、ポケットティッシュ、写真入れ用アルミ袋などが入る。フレームは紙製で白色と茶色の2種類があり、2420円。名刺封入サービスやフォト台紙に名入れができるオプションも用意している。

(株)ドリーム（名古屋市中区）もオリジナルな防災グッズを提案した。普段はクッションとして使用するが、災害時には寝袋に早変わりするフエースフリーグッズ。防災アドバイザーの高荷智也氏と共同で開発した。また、危険物から足を守る快適歩行インソールもユニークな商品。靴に入れるだけで釘を通さず、足をしっかりと守る。割れたガラスや瓦礫の上も歩ける防災安全ルームシューズは、前方にあるライトが点灯し、暗いところでも安全に歩くことができる。

メイドイン高知の防災製品をアピールしたのは、防災先進県の高知ブース。6社が個性的、高機能な商品・設備を紹介した。まず、大容量トイレ設備「大地くん」を提案したのは(有)四国浄管（高知市）。平常時は地下備蓄槽として、災害時は大容量トイレ設備として機能する。500人が30日間使用可能だ。

耐荷重2トンの強度を実現した段ボール製の高機能ベッドは(株)タケナカダンボール（高知県香南市）。強い、軽い、エコが特徴だ。